

第7回全国コミュニティサイクル担当者会議

「まちづくり」として
自転車交通を考える
金沢市における取り組みから

2017年3月15日

三国成子

(地球の友・金沢)





デンマーク朝の通勤通学風景
2005年2月



気温マイナス10度自転車専用レーンは除雪されている



ドイツ朝の通勤風景
200610月



ドイツ朝の通勤風景
2006年10月



自転車道を仲良く走っている年配のご夫婦



ドイツ朝の通勤通学風景
2006年10月



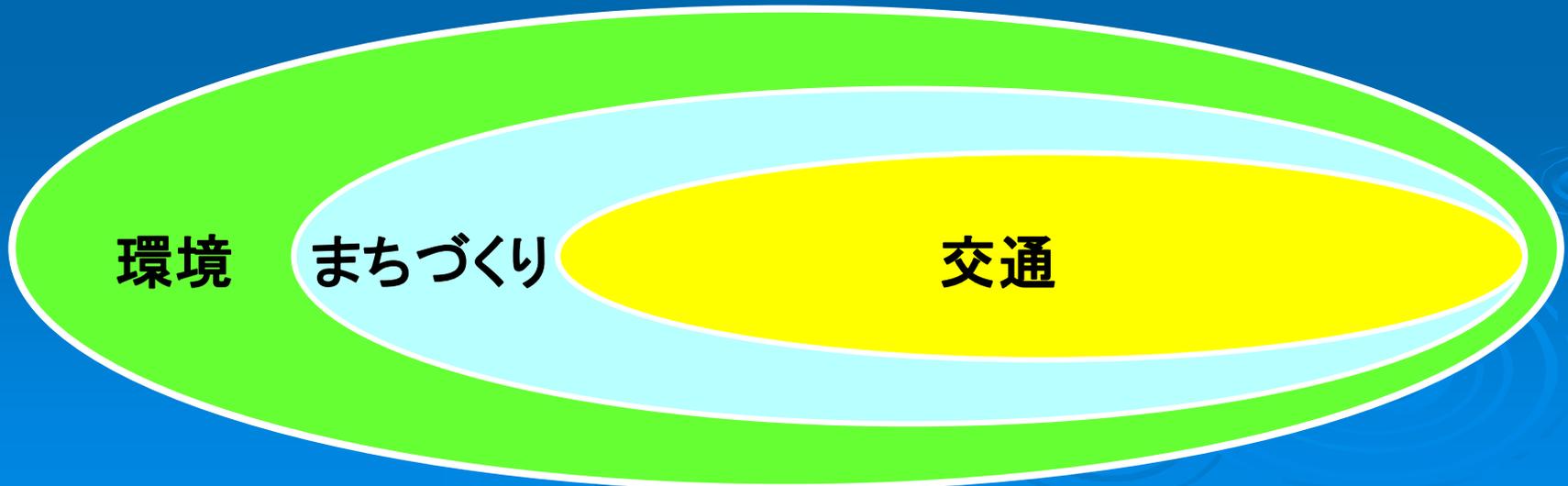
親がきちんと交通教育している

交通に対する考え方の違い

日本の場合



ヨーロッパ(ドイツ・スイス・デンマーク)の場合



「まちづくり」としての自転車交通

1. 自転車・歩行者安全マップ
2. 日本で最初のバスと自転車の共用レーン
3. コミュニティサイクルの利用例

自転車・歩行者安全マップの出発点

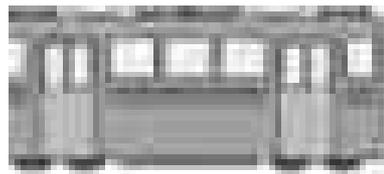
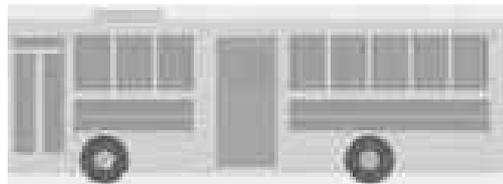
1997年のドイツ・スイス・オランダ訪問により
交通と環境に密接なつながりがあることに気づく



金沢市内

現在の日本の
交通のイメージ

車道



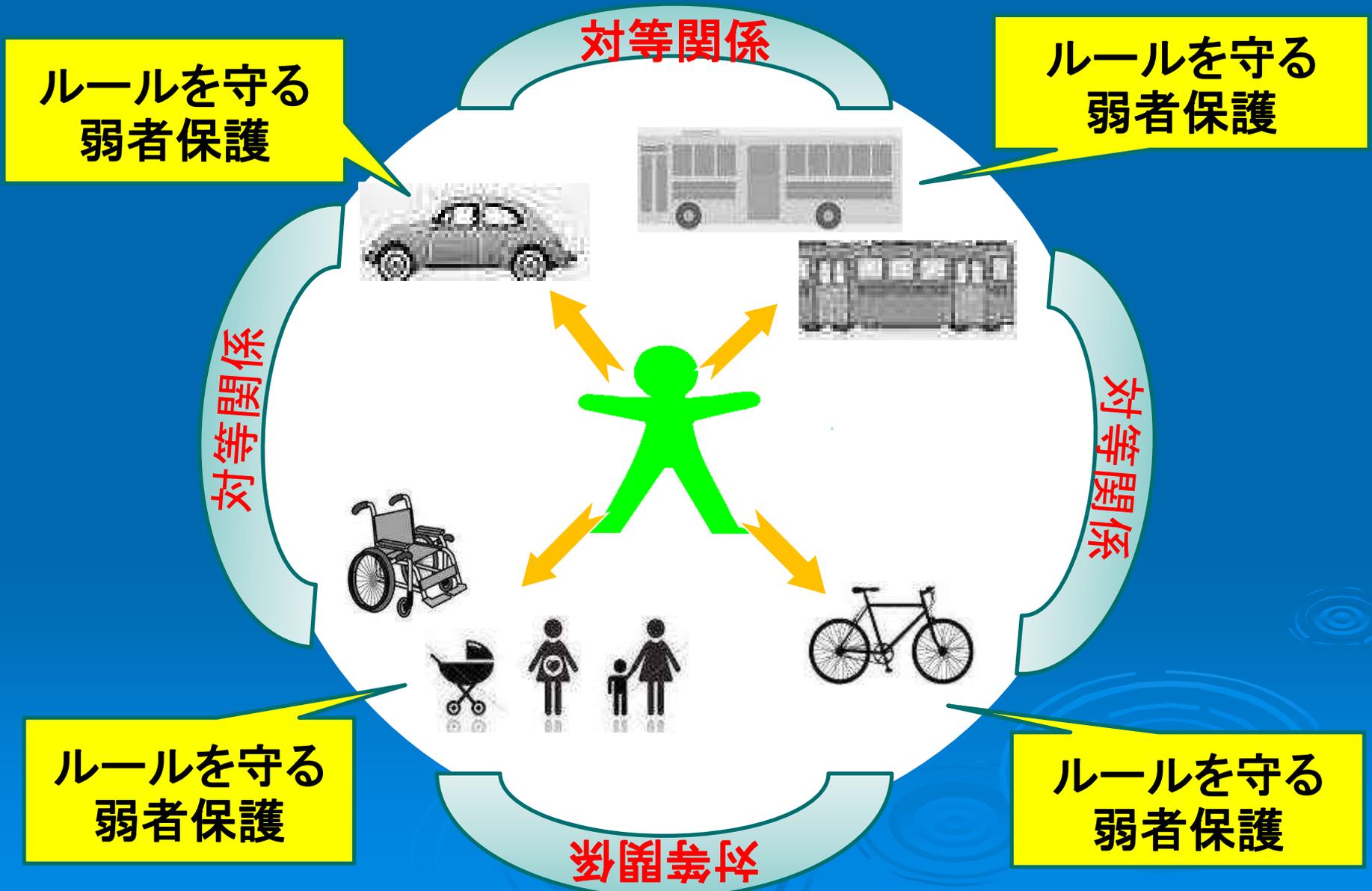
自転車は軽車両
(車の仲間)



歩道



人が、目的に応じて不自由なく交通手段を選択でき
安全に利用しやすい交通環境が基本



2001年「金沢自転車マップ」

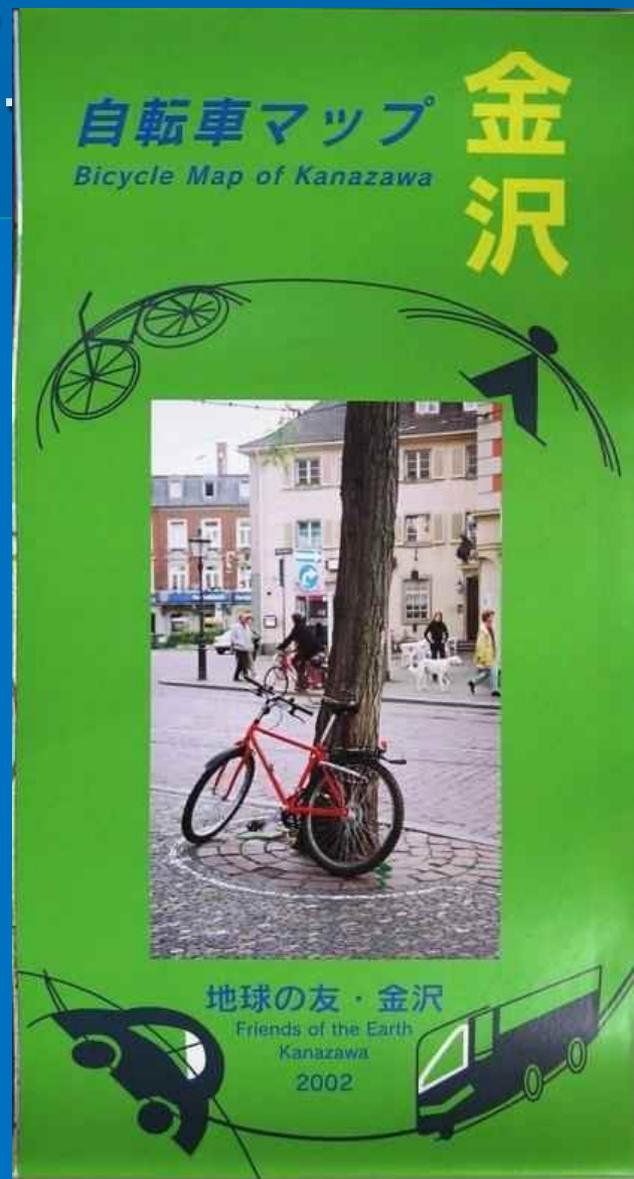
金沢市内・内灘町・野々市町の10校1500人の自転車通学の高校生を調査する

目的

近郊の道路状況と交通環境を知る

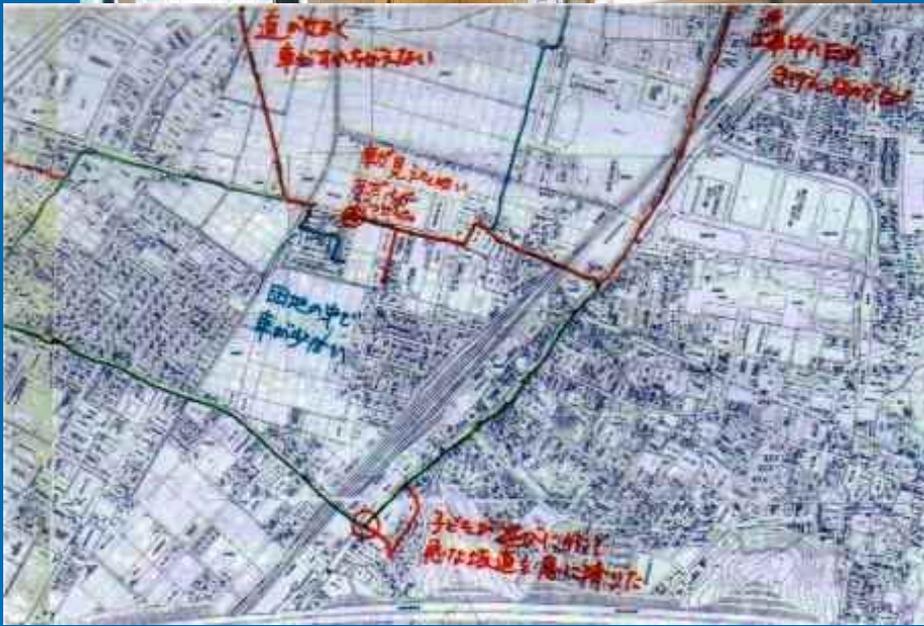
調査結果

道路状況・交通環境の問題点分かる



2.「自転車・歩行者安全マップ」の制作過程

- 目的
- 住民参加のもと、安心して利用できる歩行者・自転車路を確保する
 - 調査やマップの制作を通して、校区内の道路環境や交通安全対策に関心を持ってもらう



校下の道路状況を調査(児童・生徒)
一人一枚の白地図に通学や生活に使っている道路を**安全・危険・快適・危険な交差点**に色分けし、その理由も書く



(PTAによる)調査結果の集計



完成した地図を見て安全な道を確認める



小中学生にマップを贈呈

贈呈されたマップを見る
子どもたち



行政との意見交換会

現地調査をもとに、地元
住民・国・県・市の道路管
理者と警察が改善策に
ついて協議



改善

調査によって
得られた小中
学生の意見で、
通学路の環境
が改善

狭い歩道の植樹帯が障害



植樹帯を取り除き歩行空間を確保

改善例 百坂プラザ交差点 横断歩道橋

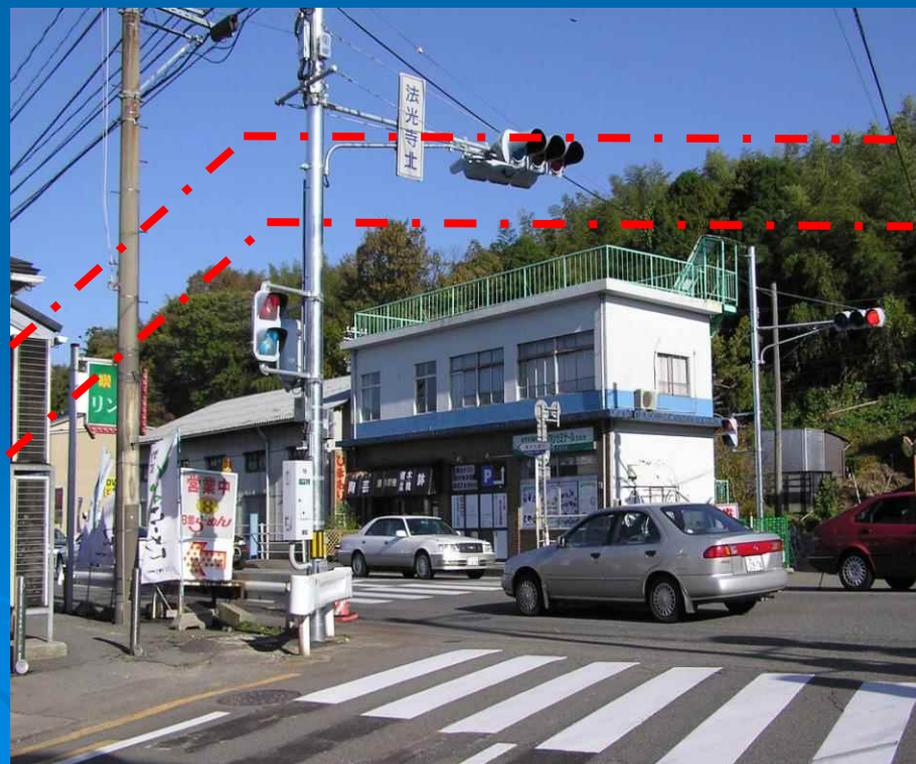
Before

歩道橋が使われていない
視界を妨げている



After

使われなくなった歩道橋を撤去！



地図作りの取組み(住民参加と協働)

合意形成:
改善策協議

行政との
意見交換会
(道の点検簿)

金沢河川国道事務所

地球の友・金沢

警察

「自転車・
歩行者
安全マップ」
作り

PTA

小中学生

石川県

金沢市

検討体制の構築

日本で最初の バスと自転車の共用レーン

社会実験から本格導入へ
幹線道路 国道359(旧159)号線

生活道路での取り組み 金沢市中心部

「地球の友・金沢」の役割

①地域住民
と行政機関と
の橋渡

コミュニケーション



事例：
道の点検簿

②現場の状況
を全体的視点
に立って見る

A町



B町

事例：
警察の協力・
事故調査

③交通弱者の視点に立って



事例：
自転車・歩行者
安全マップ

行政マンのなんとかしたいという 意思と知恵

役人は法律で動く、法律をクリアーしてゆく、
事故が起こっていることに対して市民目線で向き合った時、
現状の法律の中ではできないと思ってくじけるのか・・・
あきらめたら この事故は放置状態になる

あきらめたらだめ

現実のルール 法律があり 交通量が減ったら 何かできるのではないか

命にかかわることなので あきらめず 熱意を持ってやれば

誰かが助けてくれる

一年で結果を出そうと思ってもダメだ

社会実験に向けて現状把握

実験前の朝の通勤通学風景



自転車怖い

ニーズ:問題の再確認

歩道も車道も、右も左も関係なく無秩序に走る
自転車

国道159号線交通安全対策協議会（社会実験） （現在国道359号線）

学識経験者

町内会

小学校

中学校

高等学校

バス事業者

行政との
意見交換会
（道の点検簿）

金沢河川国道事務所

地球の友・金沢

「自転車・
歩行者
安全マップ
作り

警察

PTA

小中学生

石川県

金沢市

検討体制の継続

自転車走行指導帯を設置し、

日本で最初のバスと自転車の共用レーン



改善

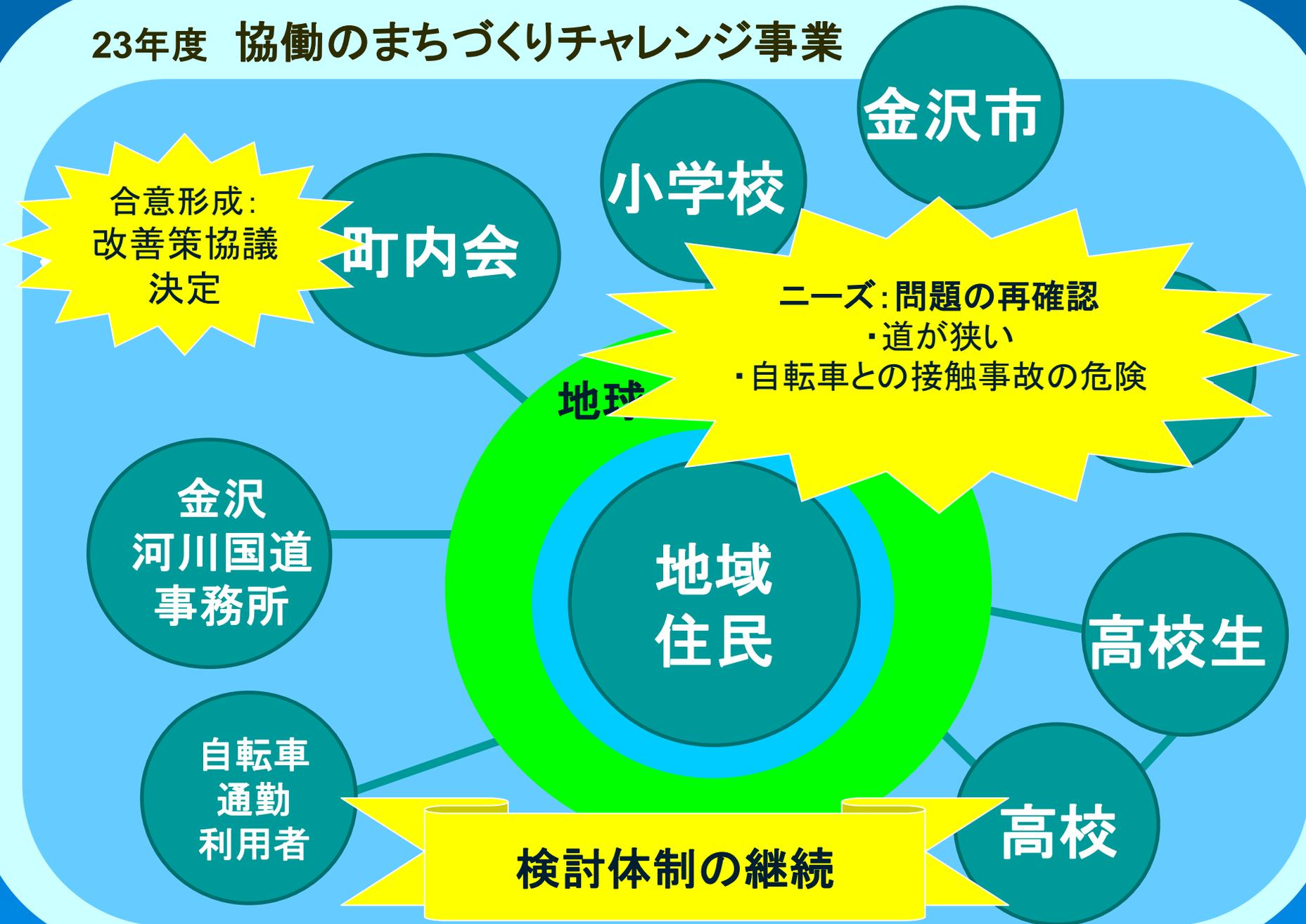
クルマも自転車も歩行も！
安全性が高まった

朝の自転車の様子 中央小学校前

ニーズ:問題の発見
+
データ
写真/VTR



23年度 協働のまちづくりチャレンジ事業



22年度 23年度

住民及び行政関係者等での検討会(7回)



検討会での決定事項

交通安全対策

- ・自転車をおろす歩道からおろす・自転車は車道左側通行

1.自転車走行指導帯設置(ハード)

2.街頭指導(ソフト)

自転車走行指導帯設置後 中央小学校前



皆さんのご協力で街頭指導（毎月15日継続中）



～ここまでのまとめ～

連携・楽しく・学ぶ・配慮
(社会性)

自転車ネットワーク計画 行政(国・県・市・警察)の連携

金沢自転車ネットワーク協議会



自転車は「車の仲間」。 車道左側が原則です

！ 歩道での通行は「例外」です

例外とは？

- 道路標識（右図）や道路標示によって歩道で通行できる場合
- 運転者が児童（13歳未満）、70歳以上の高齢者、障害者である場合
- 自転車通行の安全を確保するために、歩道で通行することがやむを得ない場合

色分けの意味	自転車を利用する時の安全
交通が少ない道	交通量は少ないですが、歩行者やクルマに注意しながら、車道の左側を通行してください。 ※「交通が少ない」とは、4,000台/日以下のクルマが通る道路のことです。
交通が多い道	交通量が多いため、安全を確認しながら、車道の左側を通行してください。 ※「交通が多い」とは、4,000台/日より多く25,000台/日以下のクルマが通る道路のことです。
交通がとても多い道	交通量がとても多いため、安全を確認しながら、車道の左側を通行してください。 ※「交通がとても多い」とは、25,000台/日より多いクルマが通る道路のことです。
歩行者専用の道	歩行者専用のため、自転車から降りて通行してください。
自転車で通行できる歩道	「普通自転車歩道通行可」の道路標識（右図）のある歩道は歩道の車道寄りを徐行してください。
自転車走行指導帯	「自転車走行指導帯」のある車道では、車道の左側を通行してください。

自転車を利用する時の安全な走り方	
交通が少ない道	交通量は少ないですが、歩行者やクルマに注意しながら、車道の左側を通行してください。 ※「交通が少ない」とは、4,000台/日以下のクルマが通る道路のことです。
交通が多い道	交通量が多いため、安全を確認しながら、車道の左側を通行してください。 ※「交通が多い」とは、4,000台/日より多く25,000台/日以下のクルマが通る道路のことです。
交通がとても多い道	交通量がとても多いため、安全を確認しながら、車道の左側を通行してください。 並行する交通量の少ない道を活用してください。 ※「交通がとても多い」とは、25,000台/日より多いクルマが通る道路のことです。
歩行者専用の道	歩行者専用のため、自転車から降りて通行してください。
自転車で通行できる歩道	「普通自転車歩道通行可」の道路標識（右図）のある歩道では、自転車は歩道の車道寄りを徐行してください。
自転車走行指導帯	「自転車走行指導帯」のある車道では、車道の左側を通行してください。



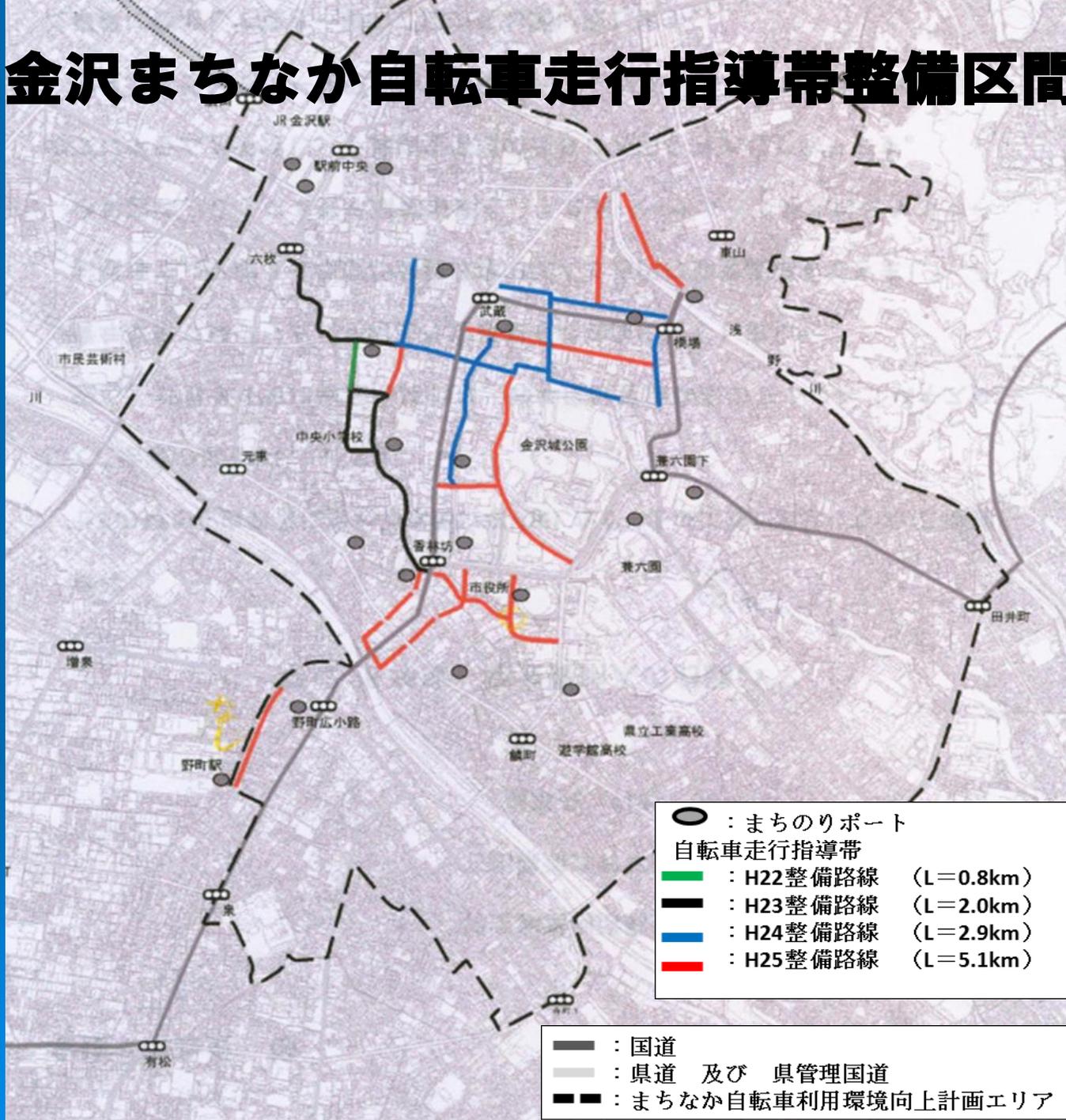
金沢まちなか
自転車ネットワーク
完成

金沢版ガイドライン
作成

毎年
勉強会・情報交換

凡例	
---	まちなか区域
🚲	自転車駐輪場
Air	自転車の空気入れがある場所 「自転車の空気入れがある場所」とは、石川県自転車自動車事業団の認定施設「サイクルショップ」、金沢市の「サイクルパートナー」に加盟しているコンビニエンスストアを指す。
🚰	「まちのり」のサイクルポート 【まちのり】とは、金沢市が実施する公共レンタサイクル（コミュニティサイクル）の愛称のこと。
♿	公衆トイレ（主なところ）

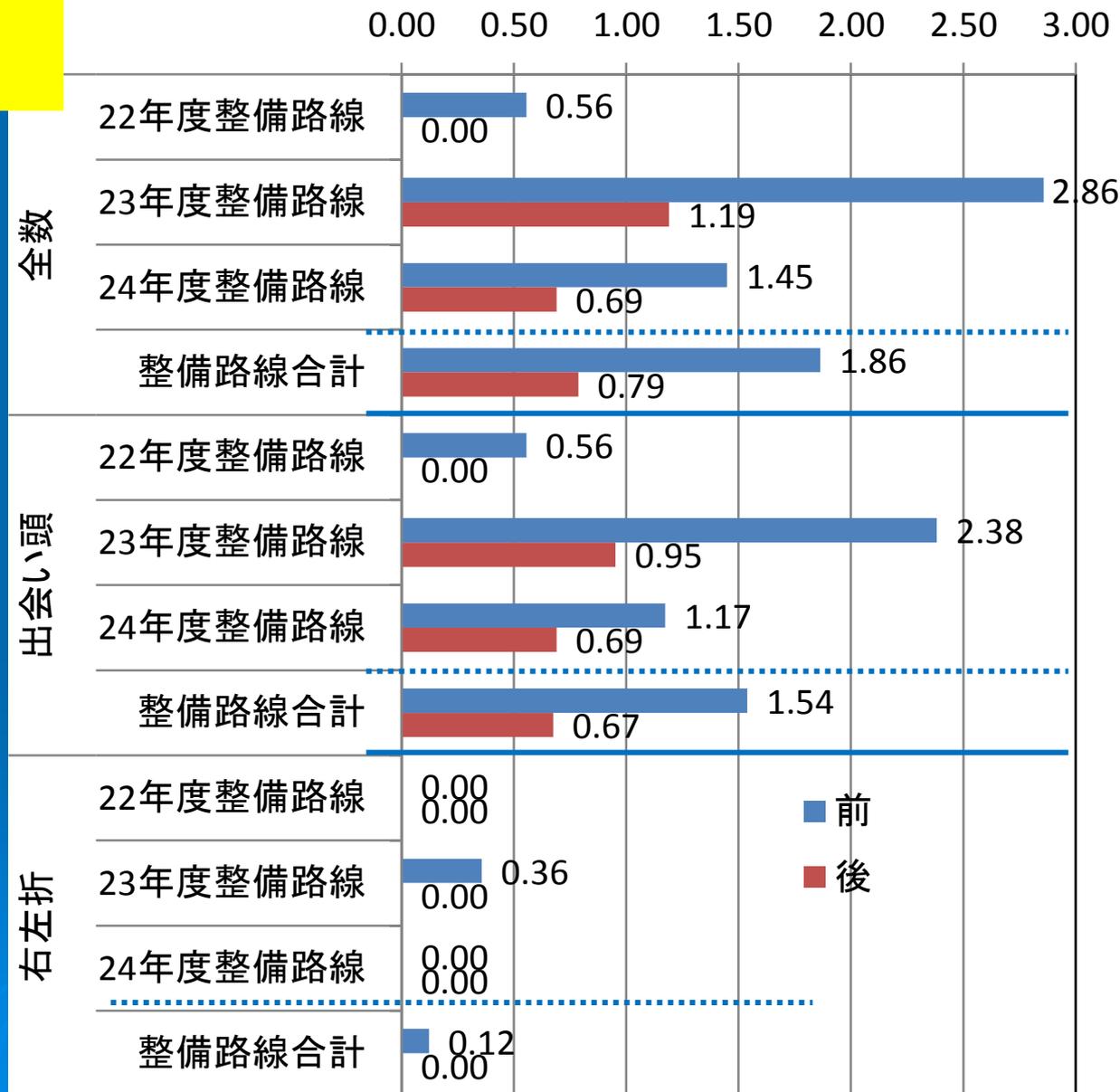
金沢まちなか自転車走行指導帯整備区間



整備後 事故は 6割減少

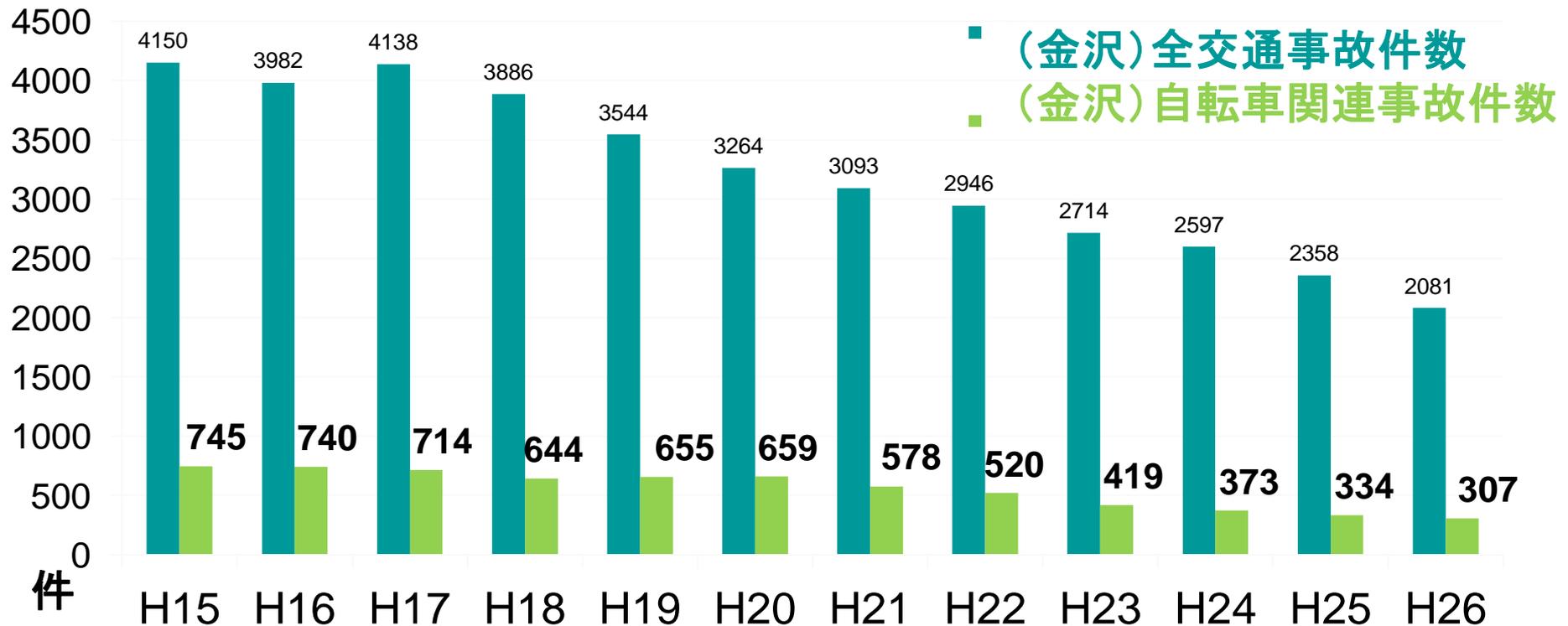
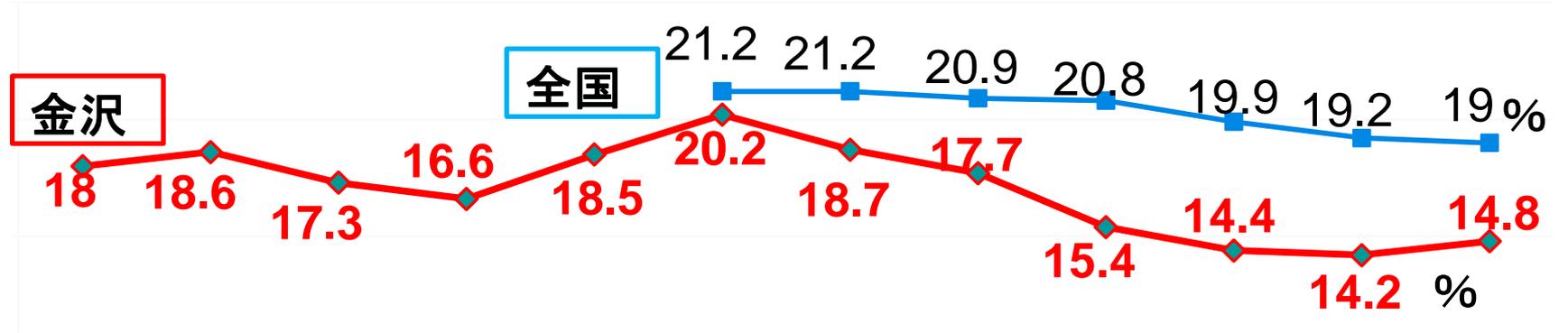
整備前後の自転車事故件数変化

件/km・年

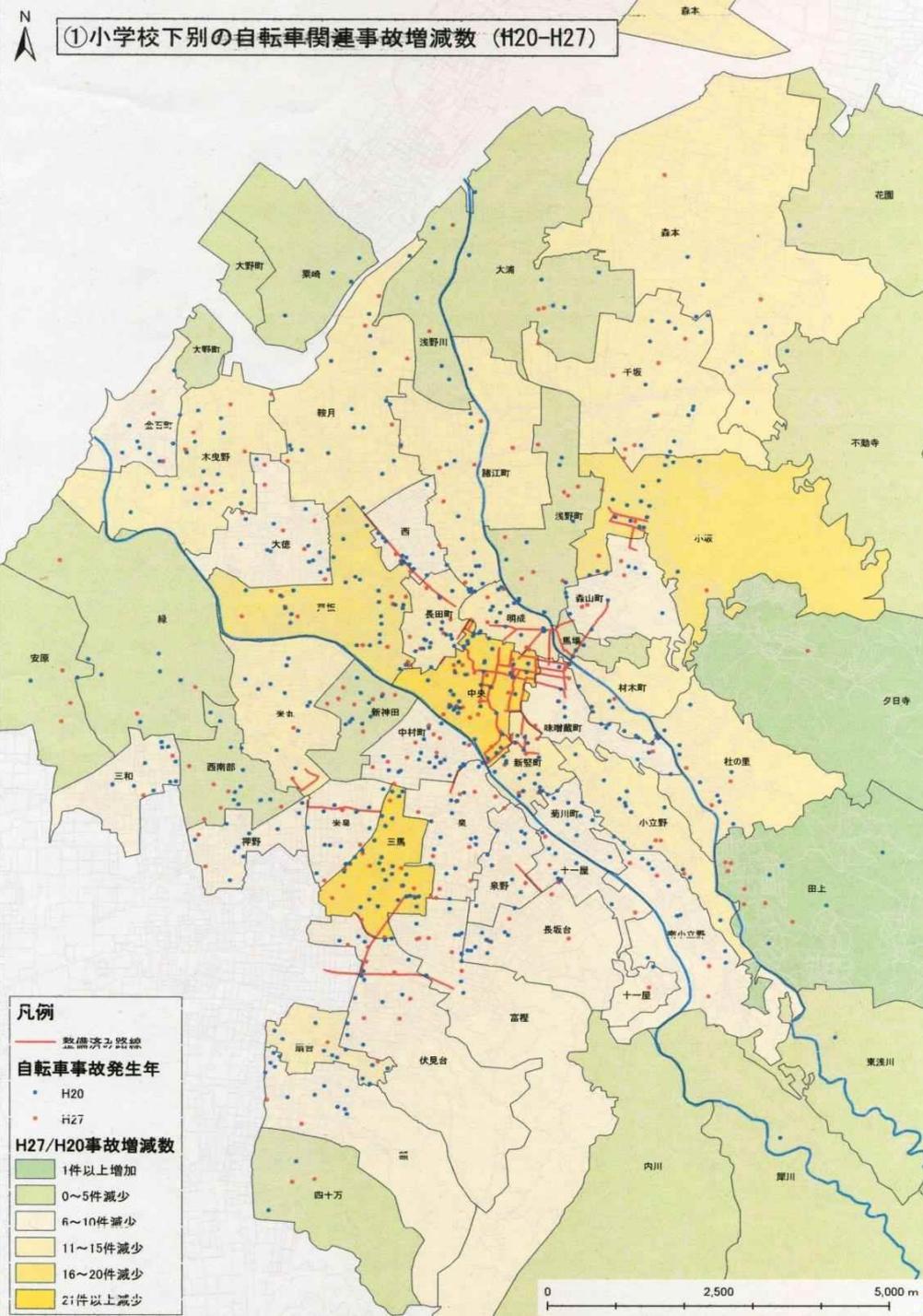


金沢市内における自転車関連事故減少

全交通事故に占める自転車関連事故の割合



小学校下別の 自転車関連事故増減数 (H20-H27)



楽しく学ぶ

デンマーク式自転車教室

詳しくは公共レンタサイクル「まちなり」ブログをご覧ください。
<http://www.machi-nori.jp/machiblog/wp-content/uploads/sites/2/2016/10/32-2.jpg>



コミュニティサイクルの利用例 ～金沢市の事例から～

H28年度
「金沢協働のまちづくりチャレンジ事業」

楽しく 学びと発見サイクリングツアー

中山間地の魅力発見！公共レンタサイクル「まちなり」を使って



平成28年度協働のまちづくりチャレンジ事業

中山間地域における里山の魅力と 自転車を活かした交流活性化 ～直江谷サイクリングツアープロジェクトの実施～



地球の友・金沢

金沢レンタサイクル まちのり事務局

今回の提案事業のビジョン・ミッション・戦略

最終目標

<金沢をもっと魅力あるまちに！>

- 自然豊かな里山の保全
- 中山間地域の産業振興

ビジョン
(目指すべき姿)

- まちなかだけでなく、中山間地域の魅力も満喫できる金沢を目指す！

ミッション
(やるべきこと)

- 地域の魅力を発掘し、繋ぎ合わせ、発信する
官民協働の「仕組み」をつくる！

戦略
(具体的な方策)

- ① 住民参加で地域の強みを見出す
- ② 「まちのり＝町の利」を広める
- ③ 地元で継続できる事業を創る

協働まちづくりチャレンジ事業
(モデル地区におけるサイクリングツアーの試行)



住民参加で地域の魅力を話しあう



◇ツアーの概要

【開催日】 ①平成 28 年 10 月 1 日 (土)、②平成 28 年 10 月 22 日 (土)

【コース】 ・金沢駅前～直江谷の全長約 34km のコース。

・旧北国街道の歴史的な街並みや直江谷の歴史あるお寺、地元のお祭、お店等、
地元のオススメスポットを巡るコース。

※地元の方々とワークショップや意見交換を行いコースを設定

【使用車】 金沢レンタサイクル「まちなり」の電動アシスト車 ※自転車の持込みも可

【PR 方法】 ホームページ、Facebook、口コミなど

【参加人数】 ①11 名

②15 名
(スタッフ含む)

【参加費】 2,000 円 / 人
(自転車レンタル代、保険等)

※自転車持込みの場合 1,000 円 / 人



※yahoo map を加工し作成



2016年度 金沢サイクリングツアー IN 直江谷



宝乗寺七面堂参道



春の直江谷全景



デリケートツールとハーブ園



レストラン・アルベロ



ツアー実施日

一回目 10/ 1 (土)

二回目 10/22 (土)

ツアーの魅力

- ① 里山の自然を満喫
- ② 知られざるパワースポットを巡る
- ③ 直江谷の食と文化を楽しもう
- ④ 安心のツアーガイド同行

お申込み・お問い合わせ

(お申込みはHPか下記事務局まで)

TEL 076-243-8287, FAX 243-0810

URL <http://biketour-kanazawa.jp>

電話での受付時間 平日 9:00~18:00

定員15名で締め切らせていただきます。

企画・実施:

地球の友・金沢、金沢レンタサイクル まちのり事務局
石川県通駅案内士 三國 千秋 登録番号 GE00005

後援: 北国新聞社

協力: 直江谷振興協議会、NPO法人市民環境プロジェクト

時間	一回目 (10/1) の行程
10:00	金沢レンタサイクル「まちのり」事務局集合・出発 (金沢駅東口駅前ライブファンビルF)
11:30	北國街道 森本駅前経由にて宝乗寺
12:00	「どんぐりとガラスの里まつり」合流 散策・昼食 牧山ガラス工房見学
13:00	熊野社、デリケートツール、レストラン・アルベロ
14:00	
15:30	金沢駅着・解散

8台の電動アシスト自転車を用意しています。



Kanazawa Bike Tour in NAOEDANI Village



Panoramic View of NAOEDANI Village in Spring



The front approach to Shichimen Hall at Hojjoji Temple



"Delicate Tool": A furniture and home renovation shop located in a European country house

The Japanese word "satoyama" consists of two parts: "sato" means the populated area and "yama" means the mountainous areas. In Japan, people and nature have been coexisting on the border between the populated "sato" and the undeveloped nature of "yama" for many years. People living in these "satoyama" have become part of the ecosystem and developed a sustainable lifestyle by maintaining the forests and farmlands of the area. There is a "Satoyama" located in the suburbs of Kanazawa. We will tour this area by bicycle and discover the hidden treasures of "satoyama".

Two Bike Tours in October in 2016

The first tour 10/ 1 (Sat)

The second tour 10/22 (Sat)

2,000JPY

◆per person (including fee for rental bike and insurance, lunch not included)

About the Tour

Our starting point will be the Public Rental Bicycle "Machi-nori" office near the east exit of JR Kanazawa station. We will leave for Naoedani Village via Morimoto Railway Station. On the way to the Village, we will take a rest at Hojjoji Temple. In Naoedani Village, we will join the Autumn Festival. 60 minutes of free time to enjoy the festival, the local food and a market. We will head back to the "Machi-nori" office at around 3:30 pm.

Important Information about the Tour

How to make a reservation

-- A reservation is required to join the tour. We accept reservations on our website, by telephone and by FAX. You can make a reservation by phone from 9:00am to 6:00pm (weekdays only)

• **The meeting spot** -- At the Public Rental Bicycle "Machi-nori" office near Kanazawa Station
• **Payment** -- You will pay in cash at the rental bike station office before cycling. We don't accept credit cards.

• **Cancellation policy** -- Within 72 hours before the tour, a cancellation fee of 2,000 JPY.

(Visit our website and look at the "FAQ")

Schedule for 10/1

10:00	Meet at "Machi-nori" office Start cycling, via Morimoto Railway sta.
11:30	Hojjoji Temple
12:00	Naoedani Village, visit the Autumn Festival. Free time at the Festival
13:00	Explore a local power spot and visit "Delicate Tool" and Italian Restaurant "Albero"
15:30	Arrive at "Machi-nori" office

RESERVATIONS REQUIRED (9:00-18:00)

FAX 076-243-0810

URL <http://biketour-kanazawa.jp>

Capacity: 15 people, Tour Guide: provided
Length of tour: about 5.5 hours. We have prepared eight electric-assist bikes for the trip.

Planning and Management:

Friends of the Earth Kanazawa (Local NGO) and The Public Rental Bicycle "Machi-nori" office

出発前

行程の説明・準備運動・ハンドサインの練習など



「まちなか」の走行環境を体験



東金沢駅前の
自転車専用レーン
を走行

どんぐり

月1日

北國新聞



地球の友・金沢がツアー

直江谷の里山 自転車で満喫

自転車が走りやすいまちづくりに取り組む「地球の友・金沢」の金沢サイクリングツアー「in直江谷（本社後援）」写真Ⅱは1日、金沢駅を発着点に山あいの直江谷地区を巡る約15キロのコースで行われ、県内の11人が里山の豊かな自然を堪能した。

参加者は日蓮宗宝乗寺を見学した後、市牧山ガラス工房で開催された「どんぐりとガラスの里まつり」でフリーマーケットやガラス工芸の展示を楽しんだ。

公共レンタサイクル「まちなり」の市郊外での利用促進につなげる取り組みで、市協働のまちづくりチャレンジャー事業の採択を受けた。22日にも同コースで開催される。





観音堂ではお話の他にも、地元でとれたアケビやカキなど
いただきました



温かいおもてなしありがとうございました！

考 察

➤ 自転車は乗ってみなければわからない！

普段自転車に乗っていない人も電動アシスト自転車を利用すれば、34kmの道のりも普通に走行できる。

➤ 自転車の車道通行を体験し、自転車のルールを学ぶ機会にもなった。

➤ 地域が活性化する起爆剤になる可能性を感じた。 地元の方の解説が貴重、県外からの参加者が多い。

秋だけでなく、春もすばらしい里山の風景となるため、地元の方々とも連携しながら、

➤ 次年度の開催も検討中！！

「自転車利用環境向上会議 in 静岡」にて 2月27日28日 全国からの参加者に発表





Thank you !